

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年指導・相談事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	悩みを抱えた青少年・問題行動をしている青少年	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
悩みを抱えた青少年や保護者から相談を受けることで、その不安や悩みを和らげています。また、問題行動のある青少年に愛のひと声をかけるなど、立ち直りを助け、犯罪に関わらないよう守っています。		青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のため、青少年補導員等による巡回指導を行います。また、青少年の悩みを早期に解消するため、青少年相談員による相談活動を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談開設日数				単位	日
	説明・算定式	青少年相談室を開設した日数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	297	297	295	294		
	実績	296	297	293			
活動指標②	指標名	愛護指導回数				単位	回
	説明・算定式	愛護指導を実施した回数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	430	430	430	430		
	実績	434	467	427			
成果指標①	指標名	相談件数				単位	件
	説明・算定式	電話(ヤングテレホンを含む)やメール、来室により相談を受けた件数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	850	850	850	950		
	実績	951	997	1003			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
<p>青少年の非行の早期発見及び早期指導を実施しました。愛護指導については、自転車の運転中の携帯電話やイヤホンの使用についての声掛けが浸透したことにより減少し、また、喫煙の指導も減少したことから、全体で昨年度より減少しました。相談業務については、メール相談が増加し、青少年相談(電話や来室)は減少しましたが、全体では若干増加しました。</p>							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えた青少年からの相談や、問題行動のある青少年への声かけは依然として多い水準となっており、引き続き事業を行っていく必要性があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えたり、問題行動のある青少年は増加傾向にあると言われており、そうした青少年に対し粘り強く指導・相談を継続していくことは、問題解決に高い効果が期待できます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うにあたり、現在においても限られた人員で交代勤務を行っているため、執行体制の妥当性は高いものと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	嘱託員賃金の削減は困難ですが、愛護指導報酬の見直しについては検討の余地があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 引き続き相談室の啓発活動を強化するとともに、相談しやすい環境づくりに努める必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施	補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施	補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施	補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	313	299	262	350
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	17,822	18,003	18,207	18,785
事業費 (A)		18,135	18,302	18,469	19,135
執行率 (%)		97.92	97.53	97.54	
内訳	職員 (人)	1.15	1.15	1.15	1.15
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		9,498	9,320	9,218	9,141
フルコスト (A+B)		27,633	27,622	27,687	28,276

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 地域と連携した愛護指導(中学校区強化愛護指導)を実施し、地域の実情に沿った愛護指導活動を行います。また、警察等関係機関との連携をより強化し、より適切な対応ができる体制づくりに努めます。
<b>課長コメント</b> 青少年の健全育成及び非行化防止のために、愛護指導を充実するとともに、事業内容のPRを工夫することにより、事業の活用を広げていきます。